

詩はどこへ 詩誌交流詩祭
 — 関西詩人協会設立 20周年記念 —

2014年
詩祭
ご案内


日時 2014年7月5日(土) 13時30分開演(受付13時より)

会場 大阪リバーサイドホテル
 大阪市都島区中野町5-12-30
 Tel. 06-6928-3251

- JR 桜ノ宮駅 西出口から徒歩2分 (※大阪駅より環状線で5分)
- 地下鉄 都島駅 2番出口から徒歩10分

懇親会 同ホテルにて(第一部終了後)17時半開始予定

参加費 第一部1000円・懇親会6000円



会員の皆さま、今年は私たちの会の20周年記念年です。ぜひご参加ください。遠くからのお客様も来てくださいます。皆で今を考え、詩を思い、楽しく語り合ひましょう。

関西詩人協会会報

第73号
2014.4.1
発行者 有馬 敲

第一部

◆ 開会の言葉 関西詩人協会代表 有馬 敲
 ◆ 祝辞 詩誌代表

記念講演
 講師 森田 進 (『詩と思想』前編集長) 『詩の発生—表現と現実』
 — 休憩 —

パネルディスカッション
 パネラー (内は所属)
 九州・沖縄 田島安江(侃侃) 中国・四国 高田千尋(黄薔薇)
 中部 北川朱実(石の詩) 近畿 佐古祐二(PO)
 森田 進(アドバイザー)・原 圭治(コーディネーター)

詩の朗読 (内は所属)
 九州・沖縄 草倉哲夫(筑紫野)
 中国・四国 上田由美子(火皿) 宮田小夜子(逆光) 山本 衛 (ONL)
 近畿 根来真知子(あ・う・ん) 松原さおり(風鐸)
 中部 おしだとしこ(青い花、翔)

◆ 終わりの挨拶 下村和子

詩誌展示 当日は各詩誌の展示コーナーを設けます。ぜひお立ち寄りください。
 (詩誌のみ参加の方の送り先)
 原 圭治 宛 〒591-8021 堺市北区新金岡町3-4-5 アルス新金岡プロムガーデン 210



森田 進氏 1941年生まれ。同志社大学・早稲田大学卒業。四国学院大学・恵泉女学園大学教授。詩集、評論集など多数。近著『美と信仰と平和』(夫人と共著)

第二部

懇親会 同ホテルにて、午後5時頃より開始
 ご出席の詩人のお話・詩誌紹介・交流・大倉元氏の手品

【宿泊】 シングル7,700円より(ネット申込みが安いそうです)各自お申込みください。
【翌日観光】 水上バス、大阪城、天満繁昌亭など、水都大阪を各自お楽しみください。

* 詩はどこへ 詩誌交流詩祭 関西詩人協会設立 20周年記念 実行委員会 *
 委員長 下村和子
 委員 有馬 敲(代表) 横田英子(事務局長) 神田さよ(総務) 岩井 洋(会計) 原 圭治(イベント担当)
 大倉 元(イベント担当) 近藤摩耶(イベント担当) 藤谷恵一郎(イベント担当) 各運営委員
 後援 大阪府 大阪市 関西・大阪 21世紀協会 大阪文化団体連合会 日本現代詩人会
 日本詩人クラブ 詩人会議

● 同封ハガキにて参加御意向お知らせください。
 送り先 大倉 元 宛 〒639-1056 奈良県大和郡山市泉原町9-1

① 本号の主な記事
 ② 詩はどこへ 関西詩人協会設立20周年記念 詩誌交流詩祭
 ③ 第23回詩画展・選挙管理委員会からのお知らせ・事務局 会計より
 ④ 関西詩人協会設立20周年記念誌へのご参加を！ 新入会員募集！
 ⑤ ホームページ情報
 ⑥ 新入会員の詩 市原礼子・植野高志・熊井三郎の各氏
 運営委員会の模様・京都で詩の教室

キラメク詩行と響き合うイメージ(イラスト・絵・写真・書) 第23回『詩画展』6月20日(金)～7月2日(水)

主催 関西詩人協会
大阪市立中央図書館

*展示期間

6月20日(金)～7月2日(水)

*場所 大阪市立中央図書館 地上2階

エントランスギャラリー

〒55010014

大阪市西区北堀江4-3-12

TEL 06(6539)3326

(係へ直通)

地下鉄千日前線または、長堀鶴見緑地線

「西長堀駅」下車7号出口すぐ

*展示作品

① 関西詩人協会会員の作品

② 詩と書・イラスト・写真等の平面構成

③ 額装・パネル貼り等で、縦+横の計が一メートル七〇センチ以内の規格で、一人一点

(必ず題名をつける)

*参加費 五〇〇円

*搬入・搬出

○搬入は6月19日(木)午後2時～3時、原則として各自で設営

(ご自分で搬入できない方は、6月19日午前必着で中央図書館利用サービス担当・窪田聡美様宛に送ってください)

☆なお、今年度は協会設立20周年を記念に交流会も予定しております。出展者と広く一般客も含めた観覧者との交流も含め、近くの西区民センター第4会議室で開催します。奮ってご参加ください。(参加費無料)

☆お問い合わせ 岸本嘉名男

〒56610032

摂津市桜町1-10-14

TEL・FAX 072(635)7917

日時 7月3日(木)

午後1時～4時まで

○搬出は7月3日(木)午前11時～12時、各自で撤去

(宅送希望の方は、受取人払いの宅送伝票を記入の上、参加費

五〇〇円と共に送ってください)

*搬出・搬入日の第1・3木曜日は図書館が休館のため、西側職員通

用門から出入りしてください。

*参加申込

同封ハガキで6月4日(水)までに必着をお願いします。

*その他の展示

各自の近刊詩集、詩誌等を会場に陳列供覧。自由に持ち帰ってよいもの以外は、亡失のおそれもあるのでガラスケースの中に展示します。

☆大阪府立中央図書館地図



☆西区民センター付近地図



関西詩人協会『設立20周年記念誌』へのエッセイ・詩のご参加を!

関西詩人協会は1994年10月に設立され、今年で20周年を迎えます。

この節目に『設立20周年記念誌』を発行することになりました。10周年記念誌(2004年発行)を継いで、協会設立11年目から20年目までの協会の歩み、会員の著書・詩集発行年表などを纏めます。また、現会員のエッセイ、詩作品のパートを設けましたので、会員の方々は原稿をお寄せ下さい。(自由参加・無料)

発行 2014年11月
出版 竹林館
様式 A5版。ソフトカバー。
1ページ3段組

*会員の著書・詩集の年表作成のための情報をお寄せ下さい。

・1月10日発行の会報に同封した葉書に記入の上、河井洋委員までお送りください。

(切手をお貼り下さい)
・2004年10月より2013年12月末までの発行書についてお書きください。

締切日は過ぎましたが、まだの方は
お早目にお出してください。

*会員のエッセイ・詩作品
再募集要項

・テーマ・内容／自由

・原稿の文字数／本文400字以内。

(タイトル、氏名は除く)別紙参照

・様式／3段組みの1段使用

・所属書き込み／3団体以内

・参加費／無料

・締切／4月15日(月)

・送付方法／送付先

・郵送にて岩井洋委員まで。

〒6060021

京都市左京区岩倉忠在地町

277の9 有松方

(郵送の上、更にメール添付で竹林館にお送りいただければ助かります)

竹林館のメールアドレス

home@chikurinkan.co.jp

・校正は8月頃(予定)、ご本人にお送りします。

編集委員

岩井洋・河井洋・神田さよ

左子真由美・佐古祐二

横田英子

新入会員募集!

共に詩を語る会員を増やそう!!

☆新会員を紹介してください☆

今年も春がやってきました。恒例の入会キャンペーンです。案内と入会申込書を同封しますので、会員の皆さん、お近くの方をぜひご紹介ください。

関西詩人協会は、関西の詩人・詩研究者・翻訳家・詩愛好者が集う、交流と現代詩普及・発展のための会です。300名に近い会員がおり、年4回の会報には関西の詩的行事や会員の詩誌・詩集・詩研究書など、さまざまな詩活動が紹介されています。年一回、総会を開き、親睦を深めます。アンソロジー詩集として自選詩集や諸外国語翻訳詩集を刊行し、文学散歩や詩画展、朗読会等のイベントも実施されています。全国詩団体との行事の共催も盛んです。

入会金は2000円、会費は年間4000円です。

会員一名の紹介と運営委員会の承認が必要ですので、お近くの会員か、会の事務局(横田英子)または入会担当委員(尾崎まこと)に、ぜひお気軽に声をかけてください。

選挙管理委員会からのお知らせ

報告とお願い

本年十一月の総会に先立ち、次期運営委員および会計監査の選挙が行われます。詳細および投票用紙などは74号(七月一日発行)に同封いたします。棄権せず必ず投票してください。

事務局・会計より

(事務局より)

退会、住所変更、ペンネームなどその他の変更事項、永年会員の申し出は必ず書面にて事務局にご連絡ください。

(会計より) 会計年度は、毎年10月1日から翌年の9月30日です。会費年度も同じです。

会費(年額四千円)の郵便振込は、口座番号01010/8/84447

加入者名 関西詩人協会

本号には左記の印刷物を同封しております。もし入っていない場合は事務局長横田英子までご連絡ください。

○詩のイベントのチラシ

○同右参加申し込み用ハガキ

○詩画展申し込み用ハガキ

ホームページ情報

担当 すみくらまりこ・寺沢京子

http://kpaem.web.fc2.com/

@シェイマス・ヒーニーさんが2013年8月30日(金曜日)亡くなりました。74歳だったそうです。ずっと彼と友人でおられた薬師川虹一さんや村田辰夫さんが最後の詩集となった『人間の鎖』を翻訳出版をさいましたので、「国際交流の頁」に掲載しています。

@「会員の詩」には香咲萌さん、白川淑さん、青島江里さんの詩を掲載しています。関西詩人協会自選詩集第7集から掲載させていただいています。今回のテーマは「春を待つ」です。(2014.2.1～4.30まで)

@「会員の活躍」のページに、ご連絡いただいた皆さまのイベント案内や報告を掲載しています。今後ともぜひご連絡ください。 E-mail: mzamblife06@yahoo.co.jp

愛の谷 市原礼子

あいのたに
四国山系の麓の 相之谷
母の生家があった そこは
わたしのなかでは 愛の谷
愛の生まれたところ
たどりつくには
長い道のりを歩かなければならない
わたしはどこまでいけるだろうか
すぐ近くまできている気はするが
お祖父さん(母の父)が夢にでてきたから
お墓参りに行かなくて
まだ若い母はそんなふうについて
愛の谷へ帰って行く
裏山の急な道 途中の畝に豆や葱
これ以上行けないところに墓石がならぶ
字の彫られている大きな黒い石
いくつかの小さな石の列が
谷の家を見おろしていた
幼くして母親を喪い
多くの死者達に愛された少女
谷に吹いてくる風を感じるときに
何を思っていたのだろう
(中略)
確かに行かなければ
愛の谷へ
生き直すことができるなら
だきしめてあげたいから
だきしめてもらいたいから

2013年の12月に、念願の第一詩集『愛の谷』を出すことができました。詩を書いている者として、せめて一冊の詩集をと思いつきながら、気持ちばかりでなかなか取りかかることができませんでした。この「愛の谷」が書けたことが一つの力になり、ようやく昔の作品を読み通すことができ、詩集として纏めることができました。そして、自分の生きてきた道を肯定できる気持ちになりました。

独楽

くるくる
くるくる
独楽が回る
最初に命を与えられ
あとは自分の力で
くるくる
くるくる
力尽きて
倒れるまで
独り楽しみ回ってる
無人の部屋で
独楽が静かに回ってる

植野高志

海だけの海

熊井三郎

鳥は鳥に似ている
でも
空をとべない
囀りもできない
こっちのものだ
いやこっちのものだ
獲りあいされたって
黙っているしかない
ちっぽけな
ほくなんて
どうでもいいのに
と 鳥はつぶやく
旗が鳴る
銃声が聞こえる
ミサイルが鳥を飛び越える
いのちが 飛び散る
鳥は涙ながらに決心する
海の底に沈んじまおう
さようなら
いとしい人たち
鳥は鳥に似ている
誰のものでもなかったのだ
と 人は気がつく
海だけの海を見て

言葉によって詩は綴られます。しかし、詩は言葉のようによくコミュニケーションの手段、情報伝達の道具ではなく、私にとつての「詩」は、一人遊び、言葉のお手玉のようなものです。私の詩はいつも独りよがり、大海に漂う一本の流木のようなものです。もし、そのような詩の中にも、読者にとつてキラリと光るものを見つけていただければ、私にとつてこの上なく幸いです。

☆新入会員の詩

今回は2012年10月会報にて入会をお知らせした方です。順に原稿を依頼してまいりますのでよろしくお願ひします。

新入会員紹介

西崎 想(にしぎき そう)さん



1975年生まれ。夫が亡くなった喪失感を埋めるため、詩を書き始めました。詩を書くことで、少しずつ前向きになれた気がします。
まだまだ、駆け出しの私ですが、心で詩を書くことで、未熟さをカバーしようとして頑張っています。
皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

笠原仙一(かさはら せんいち)さん



1954年、越前市生まれ。今年3月教職を退職。詩、芸術の分野でカサセンワールドの創造を目指す。夢は、時を超えること。楽しみは、友と、芸術や日本の未来などを語り合うこと。師は、西行、芭蕉、ピカソ、他。創造・真理・自由・自利他行を求めて精進。
詩集は『われら憤怒の地にありて』等6冊発刊。原発・日本国憲法改悪に反対するひと。

創立40周年記念

ポエム「風」フェスティバル 2014

主催 詩を朗読する詩人の会「風」
時：2014年7月13日(日)
午後4時～6時45分
所：大阪市中央公会堂(中之島)
小集会室
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27
電話 06-6208-2002

第一部(小集会室)

16:00～18:45(15:00受付開始)

- 司会 モリグチタカミ
参加費 1000円
開会の挨拶 佐古祐二
来賓挨拶 横田英子

- 講演「現代詩の希望」 尾崎まこと
第7回「風」賞 授賞式
選考経過報告 佐古祐二
受賞者の言葉と朗読

- 休憩10分
フルート演奏 和田高幸

- 詩朗読 植野高志・神田さよ・司茜
村野由樹・村田辰夫・吉田定一

- 閉会の挨拶 代表 中尾彰秀

第二部(地下レストラン中之島倶楽部)

19:00～20:30

- 『アンソロジー風第XII集』
出版記念会および懇親会
司会 蔭山辰子・左子真由美
参加費 2000円

- 開会の挨拶 近藤摩耶
乾杯の音頭

- みなさまのスピーチ
閉会の挨拶 佐古祐二

運営委員会の模様 第二回

二〇一四年二月一五日
午後二時～五時
エルおおさか 出席一八人

「議事」

- ①入退会：入会承認二名、退会二名、永年会員承認一名、現在会員数二九二名。

- ②会計報告：総会決算報告、二か月間会計報告、他。承認。

- ③名簿：一月新年度名簿を会員に送付。発行に伴う諸問題について、今回は編集担当を複数にするなど。

- ④会報：次号発行は四月一日、原稿締切は二月末、メイン記事は詩画展と詩のイベントになる。

- ⑤インターネットホームページ・アクセス数累計四七八六五。会員の詩「春を待つ」のテーマで三氏の作品をアップ。

- ⑥詩のイベント：現在までに決定していることの報告(日時、会場、基調講演者、パネラーの候補)と名称、会場費、会場の大きさ、参加の呼びかけ、朗読者の選定等について検討。

- ⑦詩画展：搬入六月一九日午後、搬出

七月三日午前。その間が展示日。ただし正式決定は三月。大阪中央図書館にて。

- ⑧文学ツアー：九月二八日(日)バスによる移動。行く先の決定は四月の運営委員会。四月下旬に下見。七月一日会報で周知。

- ⑨関西詩人協会設立二十周年記念誌：会員刊行物データ、会員の作品・エッセイの原稿の受け取り状態の報告、再度依頼についての検討。

- ⑩選挙管理委員会：今後のスケジュールについて報告承認
⑪今年度総会：日時、会場について
⑫国際交流：すみくら委員の活動について紹介。

- ⑬その他：詩を朗読する詩人の会「風」の創立四十周年イベント(七月一三日)
関西詩人協会後援の承認。
(文責 河井洋)

京都で「詩の教室」

—北原千代さんを講師に—

2月8日(土)、京都詩人会議恒例の「詩の教室」が京都駅近くの会場で持たれました。講師は、関西詩人協会の詩人北原さんで、彼女の詩の来歴、尊敬するエッセイスト須賀敦子さんから学んだことなどの話と、自作詩朗読などがありました。初めて参加した青年や、協会の詩の仲間も加わり、熱気ある話し合いとなりました。
会の後では、近くのホテルの喫茶で和やかな交流と歓談も持たれました。
(文責 京都詩人会議・岩井 洋)

《会員活動》
有馬 敲氏 連作詩「ほら吹き將軍」(詩人会議1月号)、エッセイ「追想・サンクトペテルブルグのことなど」(現代詩手帖2月号)、「同」それぞれの港湾小景(日本国際詩人協会編「港湾の詩学」収録)を発表。

青木はるみ氏・産経新聞連載詩12月「一瞬の輝き」、1月「凍結」、2月「それぞれ」の記憶」を発表。
香山雅代氏・12月25日、神戸女子大で行なわれた『六麓会』(能・狂言研究者による定例会)において「ふたつの私的(詩的)考察について」能面、橋懸かり、人形などに関わって」と題して自作品を題材にミニ発表。

神田好能氏・2月 美術雑誌「アートジャーナル社」などが主催する、芸術振興に貢献した人に贈られる「日本美術選奨」および、「サルバドール・ダリ賞」の二賞を受賞。
香咲 萌氏・日本詩歌句協会第八回中部大会にて詩作品「なめくじと私」奨励賞受賞。詩誌「地下水」で詩集『私の空』が紹介される。
小林尹夫氏・「詩の朗読の夕べ」(世話人朗読参加者は15名であった)。

白川淑氏・12月31日、エッセイ集『京のほそみち』が京都新聞に掲載された。2月17日、同紙「詩歌の本棚」新刊評として、河津聖恵氏により紹介された。
すみくらまりこ氏・12月21日、阿倍野ベルト市民学習センターで行なわれた詩の実作講座において、「マリア・サンブラーノの哲学と詩」について講義。

寺沢京子氏・2月22日、同右、詩の実作講座において「エンジョイ・ポップス60年代・70年代、詩とメロディ」を講義。
中尾彰秀氏・3月6日、EARTHPOEM PROJECT第21回、和歌山「TOY BOX」で実施。
名古きよえ氏・10月14日、二条家山茶花社より短歌と絵で秀麗賞を受賞。北桑時報2014新年号にエッセイ2作が掲載される。

苗村和正氏・「東海道士山宿の歴史遺産 および土山常明寺の津和野藩医官白仙の墓」講演を2013・12・7 滋賀大サテライト教室で行う。
藤合恵一郎氏・1月25日、阿倍野ベルタ市民学習センターで行なわれた詩の実作講座において「大江健三郎」について講義。
吉田薫氏・12月8日、サンケイ朝の詩に「アへへ」、2月3日「誕生日」が掲載された。

2月23日、茨木市市民総合センターにおいて、21世紀創作歌曲の会「まほろば」の第9回コンサートが行なわれ、会員の柿本香苗、左子真由美、下田喜久美、津坂治男、高丸もと子各氏の詩が曲になり披露された。
《今後の予定》
小林尹夫氏 「詩の朗読の夕べ」(世話人小林尹夫) 毎月第4木曜、午後6時〜6時50分、熊本市現代美術館、無料。テ1マ4月「永遠」、5月「もよう」

《入・退会など会員の移動》
入会者 西崎 想・笠原仙一の各氏
退会者 柿島恭子・辻下和美的の各氏
永年会員 井上 庚氏
会員数 292名

《会員の新聞詩書》
吉田定一詩集『胸深くする時間』 竹林館
根本昌幸詩集『荒野(あら)の』に立ちてーわが浪江町』 コールサク社
佐藤勝太詩集『果てない途』 編集工房ノア
加納由将詩集『夢見の丘へ』 思潮社
神田好能詩集 竹林館
薬師川虹一訳(リジア・シムクレーテ詩集)『想いと聲』 竹林館
《団体の会報・図書》
千葉県詩人クラブ会報224
千葉県詩人クラブ事務局
島根県詩人連合会会報75
島根県詩人連合会
詩界通信65号
日本詩人クラブ

日本現代詩人会会報133号
日本現代詩人会
群馬詩人クラブ会報285号
群馬詩人クラブ
山形県詩人会会報25 山形県詩人会
O.C.O.S季刊オコス200号記念号
大阪文化団体連合会

鹿兒島県詩集第17集
鹿兒島県詩人協会編
大分県詩人協会会報139
大分県詩人協会
詩の会復刊33 宮崎県詩の会会報
茨城現代詩選2013
茨城県詩人協会
横浜詩人会通信289 横浜詩人会
山梨県詩人会会報13 山梨県詩人会
兵庫県現代詩協会会報34
兵庫県現代詩協会
埼玉詩人会会報73 埼玉詩人会
いしかわ詩人37 石川詩人会
T.O.M.P.A通信12・25発行
徳島現代詩協会

とっとり詩人29 鳥取県現代詩人協会
宮城県詩人会会報18 宮城県詩人会
香川県詩集第17集 2013年度版
香川県詩人会
同人雑誌 姫路文学 香川県人会
岐阜県詩人会会報2 岐阜県詩人会
中四国詩人会 ニューズレター135
中四国詩人会
中日詩人会会報179 中日詩人会
栃木県現代詩人会会報67
栃木県現代詩人会

会員発行の詩誌

14年12月1日~14年2月28日

Table with 2 columns: Magazine Name and Author. Includes titles like '青い風 27' by Ken Iwamoto, 'アリゼ 159' by Heiichi Iwano, etc.

☆発行の場合はお知らせください

次号(第74号)は7月1日発行です。記事の締切は、5月末日です。みなさまの活動をぜひお知らせください。記事は17字×4行でお願いします。

関西詩人協会会報 第73号 発行者 有馬 敲 編集 左子真由美
関西詩人協会事務局 590-0141 大阪府堺市南区桃山台三ー五ー四一
大阪府堺市東区東天満一ー九ー四 千代田ビル東館7階FG 竹林館 左子真由美
TEL 06-4801-6111 FAX 06-4801-6112 次号締め切りは5月末日